



MIDORI

みちしるべ

緑区民生委員児童委員協議会

第 65 号

— 発行 —

緑区民生委員児童委員協議会

機関誌編集委員会

発行責任者 会長 松浦 正義

横浜市緑区寺山町 118 番地
930-2328

リーダー養成研修に参加して

令和 2 年 8 月に民生委員の委嘱を受け竹山地区で活動しています。前任者からの引き継ぎと先輩民生委員のアドバイスを参考に活動してきました。少し不安もありましたが経験を積み何とか今に至るところでございます。

今回のリーダー養成研修は動画で研修を受けさせていただきました。私自身は 40 代、会社員、土日休みという環境で平日の活動に負担があるので、今回の負担軽減についての研修は非常に興味がある内容でした。民生委員・主任児童委員の歴史、役割は地域からの信頼で成り立っているものと再認識できました。活動状況に関しては社会問題の増加により地域福祉活動が増えている、それに伴い、研修も増えた結果、活動増加につながる仕組みが理解できました。改めて、地域のため、さまざまな課題を抱えた人を支えるために誇りをもって活動していきたいと感じました。

個人情報の取扱いに関しても学ぶことができました。センシティブな情報を取り扱っているの、情報共有したい部分は事前に同意を取っておくとスムーズに事が進み信頼にもつながるのが勉強になりました。

負担軽減については、一人では限界があるが委員同士で協力しながら活動することで解決ができると感じました。委員だけでなく地区社会福祉協議会、地域包括支援センター、地域と連携し周囲を巻き込みながら楽しく活動し後継者育成にもつなげていきたいと思いました。

研修全体を通して民生委員・児童委員は地域からの信頼で成り立っていて地域住人と顔を合わせながら援助ができる素晴らしい職務だと気付くことができました。この職務を続けるには自分自身も健康に留意し、楽しみながら活動していきたいと思います。

竹山地区 松村 智徳

8 月 4 日ウィリング横浜で開催されたリーダー養成研修会を動画で受講しました。コロナ禍の中で、自宅で研修を受講出来て良かったと思いました。

講師の川上富雄先生は社会福祉協議会でのお仕事の後、日本の大学、アメリカの大学で活躍、民生委員児童委員の実情をよくご存じで、ご理解されていると感じました。

研修では、先生の資料をはじめ、全国民生委員児童委員協議会や厚生労働省のホームページから 60 以上の資料提示がありました。その中で、「民児協委員は 3 期を務めて色々なことがわかり始める。現状は地区委員の 4 割弱が 1 期目の委員である。負担軽減の体制や環境ができれば委員を長く続けてもらえる。そのために自治体、行政、国が取り組むべき課題が沢山ある。民児協としては、定例会での新任委員のサポート体制を構築、ケースカンファレンス（事例研究）、訪問時などのロールプレイング（疑似体験）を試み、活動しやすい環境づくりをしてほしい。民生委員児童委員の活動が楽しいと PR 出来るようにしてほしい。」との提言が印象に残りました。山下地区も 6 名が新人委員です。今回の研修を参考に皆が楽しく活動しやすい環境作りをしていきたいと思いました。

山下地区 小山 光子

主任児童委員活動報告

新治西部地区は、新治町、十日市場町、後谷を受け持っています。

新治西部地区主任児童委員は、地区の民生委員・児童委員と連携して活動しています。

緑区地域子育て支援拠点「いっぽ」にて、第 1 子満 1 歳までの赤ちゃん教室のお手伝いをしています。お母さん同士の交流を深めることで、コロナ禍の不安やストレスが軽減されるようです。満 1 歳で卒業の時には、お母さんから卒業までの想いを語ってもらいます。

また、こんにちは赤ちゃん訪問員の兼任や子育てサポート、登下校の付き添い等の活動の他、小学校の懇話会にも出席しています。コロナ禍で保育園や小中学校の

行事が中止になる中、新治小学校では、はぐくみ協働運営協議会、入学式、卒業式、運動会、授業参観等に出席しました。

これからも地域に貢献できるよう、民生委員・児童委員が一丸となって、地域の方々と協力して取り組んでいきたいと思います。



新治西部地区主任児童委員 荒井 史子・小林 恵

東本郷地域ケアプラザを訪問して

当ケアプラザは、東本郷地区の端で都筑区、港北区、神奈川区に隣接しています。

「地域が息づき、みんなが安心・安全を感じ、住んでよかったと思えるまち 東本郷」をスローガンに、東本郷地区にお住いの方々に、安心して生活が続けられるよう、連合自治会、地区社会福祉協議会、民生委員児童委員協議会、諸団体などと協力、連携を取りながら活動しています。

ケアプラザの活動の中で、地域との協働で始まった移動販売、地域住民の声から始まったスマホ講座の2つを紹介させていただきます。

【移動販売】

東本郷地区は、起伏にとんだ場所にあり、「坂が多くて買い物に行くのが大変」、「周りに買い物をするとところがない」という声があり、その課題の解決にむけて、地域と協議を重ね、移動販売を開始しました。公園、集合住宅の敷地内、ケアプラザなど4か所で実施しています。「家の近くまで移動販売が来てくれるので助かる」と好評です。また、高齢者の見守り活動もできるため一石二鳥です。



【スマホ講座】

地域の方々が、デジタル化に対応できるよう定期的にスマホ講座を実施しています。「スマホは持っているが使い方がわからない」といった声によりスタートしました。多くの方にご参加いただいております。スマホは通信（電話やメール）としてだけでなく、便利な情報収集ツールです。欲しい情報が早く入手でき、申込みも簡単です。また、コロナ禍において、オンラインの講座が、自宅にいながらスマホで簡単に講座が受講できるなど、とても便利です。地域の方々にスマホで、安心・安全でもっと便利な暮らしができるよう協力できたらと思います。



【お問合せ】 東本郷地域ケアプラザ
Tel 045-471-0661
Fax 045-471-0678

はじめまして！よこはまミンジーです。

「ミンジー」の由来は、「民生委員」「みんな」の「ミン」と、「児童委員」「主任児童委員」「児童」の「ジー」で、「ミンジー」です。

元々、東京都民生児童委員連合会が作成したキャラクターであり、その後続々と各都市での地域版ミンジーが誕生しております。

ミンジーはペンギンをモチーフとしたキャラクターで、ペンギンは、集団生活を営む中で、みんなで協力して子育てをすることから、民児協が「地域における支え合いをめざす」「社会全体で子育てを応援する」活動に取り組む姿を表しています。

横浜市民児協では、民生委員・児童委員を皆様に知ってもらい、民児協の役割を理解していただくきっかけとなるように、横浜市版ミンジーとして「よこはまミンジー」

を作成しました。横浜ということで、水兵さんをイメージしたセラー服のデザインとなっており、「オープン ヨコハマ」のロゴマークが記載された旗を持っています。「オープン ヨコハマ」のロゴマークは

2009年、横浜開港150周年という記念すべき年に誕生し、横浜の未来を表すシンボルとなっております。

皆様にとってよこはまミンジーが身近なキャラクターとなり、ミンジーを通して民生委員・児童委員の活動をより一層ご理解していただければと思います。



緑区民まつりの開催



区民まつり「ミドリんたいそう」に参加して

私たち緑区主任児童委員は、10月16日（日）緑区民まつり公会堂ステージで緑区のキャラクターミドリんと区役所職員チーム「Team ミドリん」とともに「ミドリんたいそう」を披露しました。なかなか集まって練習することができないため各自 YouTube を視聴して練習しました。当日は緑色のものを身につけて、みんなで楽しく笑顔いっぱいでお終えることができました。

「ミドリんたいそう」は区内保育士さんが作詞・作曲・振り付けまで制作されたとのこと。明るい歌詞と軽快な曲、小さな子どもから大人まで楽しめる体操です。YouTube で「ミドリんたいそう」と検索すると視聴することができます。みなさまも是非覚えてください。

三保地区主任児童委員 岩井 千加子・林 雅恵

地区だより 山下地区



浜梨やぶどう等の果樹園や田畑が広がる「横浜の子ベット」とよく称されるのが山下地区です。2人の主任児童委員を含む20名の民生委員がコロナ禍で工夫した活動をしています。

2つの河川が流れる自然豊かな土地でもありますが、その分昔から水害の危険性と隣り合わせでもあります。昔からの地の人達に新たな住民が加わった地区は、4つの町に13の自治会から成り立っています。二つの小学校、三つの市営住宅、マンションや数多くの福祉施設が点在するのも特徴で人口は16,729名（青砥町4,712名、小山町776名、北八朔町8,774名、西八朔町2,467名2021年現）です。高齢化も見逃せません。

私達は中学校でのしゃべり場等、コロナ禍で中止のま

まの活動もありますが、地域包括支援センターのアドバイスを受け、地域の課題を皆で出し合いながら作成した小冊子「見守りガイド」を手元に置き、高齢者の方や子どもさんのいる世帯へのさりげない見守りと寄り添いをしています。

また、区との協定の下「災害時における要援護者」の方々への見守り訪問等、連合自治会と行政とも手を携え、誰もが住みやすい安心安全なまちづくりを推進しています。

山下地区 澁井 まどか

おめでとうございます!



長きにわたる活動の功績により、多くの民生委員・児童委員が表彰されました。(敬称略)

○神奈川県民功労者表彰 (令和 4 年 6 月 15 日 受賞)

〈永年勤続民生委員・児童委員〉
正木きよ子 (新治中部)

○全国民生委員児童委員連合会会長表彰 (令和 4 年 10 月 19 日 受賞)

〈民生委員・児童委員功労者表彰〉
松浦 正義 (新治西部) 上田 公代 (霧が丘)
〈永年勤続民生委員・児童委員〉
鈴木 義男 (三保)

○横浜市社会福祉協議会会長顕彰 (令和 4 年 11 月 4 日 受賞)

正木きよ子 (新治中部)

○横浜市社会福祉功労者市長表彰 (令和 4 年 11 月 4 日 受賞)

〈永年勤続・活動功労 30 年〉
正木きよ子 (新治中部)
〈永年勤続・活動功労 15 年〉
野村 武 (東本郷) 大嶺 香 (東本郷)
高林 綾子 (東本郷) 福地 陽子 (竹山)
横山ヨウ子 (白山) 柿添恵美子 (白山)
喜代永直明 (新治中部) 大橋夕力子 (新治中部)
岩澤 鈴子 (新治中部) 加藤 栄子 (新治中部)
澤地 逸美 (新治中部) 谷井久美子 (山下)
安田 信子 (山下) 西原 悦子 (三保)
岩本 光子 (三保) 福見 豊子 (三保)
加渡 節子 (新治西部) 荒井 史子 (新治西部)
用澤いつ子 (霧が丘)
〈永年勤続・活動功労 10 年〉
西井 保江 (鴨居) 藤田 桂子 (新治中部)
奈良 陽子 (長津田) 松本 和子 (長津田)



編集後記

3 年間いっしょに「みちしるべ」を作った仲間たち

コロナ禍の制約の中で「みちしるべ」の刊行を継続できたのは、本部を始め皆様の多大なるご支援と原稿をお寄せ頂いた方々の熱意のおかげです。又編集の仕事を陰で支えてくれた事務局の働きも忘れません。

委員長 東本郷地区 野村 武

コロナ禍であまり人と話す機会のない日々ですが、編集委員会は刺激を与えてくれ、楽しみな場でした。ありがとうございました。

竹山地区 鈴木 裕子

コロナ禍による活動制限がある中で、の編集委員会でしたが、楽しく読んでいただけるような紙面づくりを心掛けました。

白山地区 伊東 とし子

記事が決まらないコロナ禍での 3 年。新しい企画を出し合い、5 回発行する事ができ、良い経験になりました。

新治中部地区 加藤 栄子

コロナ禍での 3 年間であり、機関誌として十分な情報を届けることができたか疑問も残りますが、出来る範囲で最善を尽くしました。

副委員長 霧が丘地区 梅津 浩平



右も左も分からないまま、「みちしるべ」の編集委員になりましたが、皆様のおかげでよい経験をさせていただきました。

三保地区 林 雅恵

初めは、3 年間は長いと思っていましたが、楽しく良い経験をさせていただくことができ、早い 3 年でした。3 年間ありがとうございました。

十日市場団地地区 石川 多美

コロナ禍に振り回され、行事が次々と中止になって、どうなってしまうのかと思った 3 年間でした。

鴨居地区 野澤 晴美

「みちしるべ」の委員となり、早 3 年が経とうとしています。コロナに始まり、色々なことがありました。私事としては、昨年夏の大変忙しい中に母が他界しました。

皆様にはご迷惑ばかりおかけして申し訳ありません。お世話になりました。

山下地区 渡邊 節子

民生委員の行事も中止になり、「みちしるべ」の活動も制限されることもあった 3 年間でしたが、今までにない経験をさせていただきました。ありがとうございました。

新治西部地区 佐藤 貴美江

知らなかったこと、沢山知ることができ、大変勉強になりました。ありがとうございました。

長津田地区 今村 雅子